

講義名	対)卒業研究		
講義コード	44401	授業形態	開講期・曜日・時限
担当教員	西尾 範博		備考

学部・学科	演習分野
全学科	生涯学習論ゼミ

概要説明

生涯にわたり学び続ける力を身につけることを目的とする。その力は3つからなる。
 問題対処能力（何事にも関心をもって目を向け、問題や課題を発見し、解決策を探索し、対処する力）、
 人間関係能力（自己の考えや思いを表明する勇氣と、他者の考えや思いを尊重する思いやりをもって、相互に自立した仲間が健全な相互依存関係を築きながら一つのことを成し遂げる力）、
 コミュニケーション能力（受容と共感を基礎として相互理解を深め、相互成長につながるコミュニケーションを図る力）。

以上の力を身につけるために、当ゼミでは、個人または少人数、1学年、2学年合同、3学年合同といったさまざまな規模とメンバー構成のグループで取り組む、さまざまな課題や活動、イベント（課題図書・課題発表会、各種プロジェクトやコンテストへの参加、ゼミ卒業生による特別講義、入ゼミ式、卒ゼミ式、ハイキングゼミ、ボウリング大会、クリスマス会、新年会その他、多彩なグループワーク）を計画・準備し、実施している。

主な卒業論文のタイトル

「社会人の心の支えと対処法に関する研究」
 「個性を引き立たせるコミュニケーションツールとしての『方言』研究」
 「日本人は『新しいもの好き』か」
 「道の駅研究」
 「カフェ： サードプレイスとしての事例研究」
 「留学生の間西方言（関西弁）に関する調査研究」
 その他、ゼミの目的に即したテーマであれば自由に設定することが可能。
 テーマの多彩さが当ゼミの特徴となっている。

教員よりの要望

西尾ゼミに合う学生像は以下の通りです。
 ゼミを優先事項の上位におき、ゼミから何かを学ぼうとする意欲の強い学生
 すべきことを当たり前のようにするなど、何事にも真面目かつポジティブに取り組むことができる学生
 担当教員と信頼関係を築き、ともに楽しみ、成長していこうという意欲の高い学生
 ゼミの仲間たちとグループワーク活動を活発に行い、信頼関係を築き、共に楽しみ、成長していこうという意欲の高い学生

なお、ゼミのFacebookにも必ず目を通してゼミの雰囲気やゼミ生たちの様子を必ず確認し、西尾ゼミが自分に合うか否かの判断材料にしてください。
 在学生用 「流料大 西尾ゼミ」
 卒業生用 「西尾範博」

選考方法

最終的には申込書の記述内容をもとに選考しますが、その前に必ず、公開ガイダンスや個別ガイダンス、公開ゼミに参加するようにしてください。そして担当教員やゼミ生たちと話をし、あなたがゼミに求めることやゼミで実現したいことと、担当教員がゼミ生に求めることがどの程度一致するかを一語に考えたいと思います。

なお、ゼミ生に求められることは次の8点です。
 ゼミの看板を背負っているというプライドと責任感をもつ
 「ゼミは特別」と、西尾ゼミの価値を理解し、大切にしたいと思える
 互いに認め合い、理解し合い、支え合い、学び合い、高め合いを発揮する
 「一人ひとりがキーパーソン」、「何事も楽しむ」、「何事も練習、皆で練習、皆で成長」というゼミのスピリットを実践する
 「やるときはやる」と、スイッチのONとOFFの切り替えができる
 何事にもベストを尽くして取り組み、大きな成果を目指す真面目さと情熱をもつ
 皆で何かを成し遂げる経験を積むために互いに都合をつけあえる
 フツワのことがフツワにできる
 (例)出席、挨拶、報連相、提出期限厳守、貢献

評価方法
ゼミ活動への参加度や貢献度（60%）、課題の提出物やプレゼンテーションの出来ばえ（40%）をもとに総合的に評価する。

教員英字氏名	研究室
Norihito Nishio	研究棟 1階 109号室

最終学歴
大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学

学位
文学修士

主な研究活動・社会活動・研究業績
ケース・メソッドによる教授学習過程研究

趣味・特技
趣味： 自然散策、園芸、写真撮影、読書、蝶タイの収集と着用、ボウリング、Facebook 特技： 書道

所属
人間社会学部人間社会学科

所属学会
日本応用心理学会

専門分野
教育方法学（ケースメソッド教授学習法）、コミュニケーション心理学、人間関係論

担当科目
コミュニケーション心理学、ヒューマンリレーション論、教養特講（7つの習慣入門）、教養特講（自己理解と他者理解）、教養特講（生涯学習力）、教育方法論、教職実践演習、教育実習、自己発見とキャリア開発A、自己発見とキャリア開発B、研究演習、研究演習、卒業研究

備考
ゼミの活動に熱心に取り組めていない学生やゼミの仲間への貢献が不十分な学生と判断された際は、「早期卒業」（ゼミ除籍）を申し渡しますので、あらかじめご承知おきください。

実務経験の有無及び活用